



### 【令和8年度 福光美術館企画展について】

〔日本画から現代アートまで、多様な企画展を開催!!〕

魅力的な企画展を開催し、福光・南砺市から全国へ向け発信します。

#### ■内容説明

### 名都美術館コレクション 「時」を纏う美人画

上村松園・鏑木清方・伊東深水 —近現代名画とともに—

2026 4.29 (水) — 6.28 (日)

前期 2026.4.29 → 6.1 後期 6.3 → 6.28

愛知県長久手市にある名都美術館は近現代日本画の優れたコレクションで知られており、特に「美人画三大巨匠」と称される上村松園、鏑木清方、伊東深水の作品が充実しています。3名の美人画を中心に巨匠たちによる日本画の名品をご紹介します。



上村松園 《わか葉》(名都美術館蔵)

### 生きることのコンポスト

2026 7.18 (土) — 8.23 (日)

新進気鋭の現代アート作家たちが全国から集まり、ここ南砺ならではの表現に挑みます。

コンポストとは微生物がごみを分解して堆肥(土)に変えることを意味します。本展覧会では「耕す」をキーワードに、コンポストのような芸術表現によって、自分自身で生きていくことやその技術に目一杯、向き合うことを試みます。



---

北からの風：

## 棟方志功と奈良美智

---

2026 9.12 (土) — 10.25 (日)

青森県が生んだ世界的アーティスト、棟方志功と奈良美智。その作品の深みは、東北の記憶、風土から生まれた精神性にありました。ふたりの作品を同じ空間に展観し、その魅力に迫ります。



奈良美智 《White Riot》(青森県立美術館蔵)  
©Yoshitomo Nara



棟方志功 《虎猫図》(青森県立美術館蔵)

---

## 第22回 南砺市美術展

---

2026 11.14 (土) — 11.29 (日)

南砺市民及び南砺市にゆかりを持つ人を対象とする、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門の美術公募展。委嘱・招待作家作品をあわせて展示します。

---

## 第25回 なんと版画年賀状公募展

---

2027 1.23 (土) — 2.14 (日)

南砺市に暮らした板画家 棟方志功のゆかりによる版画年賀状の全国公募展。一般、中学生、小学生以下の3部門を設け、招待作品とともに約500点を展示します。



第24回展 一般の部 大賞 坪井 富佐乃

---

筆に私欲なし — 菊池素空<sup>きくちそくう</sup>  
京都と福光に捧げた美の生涯

---

2027 2.27 (土) — 4.4 (日)

大正期の福光の文化振興に深く関わった日本画家 菊池素空は、図案家として京焼の再興を牽引しながら、署名を残すことなく、その生涯は謎に包まれていました。没後 100 年を迎えた今、約 70 点の日本画や陶磁器等を展示し、その生涯を紐解きます。



《百花園》(左隻部分)